

# KIKUCHI PROJECTION SCREEN

電動巻上型スクリーン（24V制御・低電圧コントロールタイプ）  
代理店（施工業者）様用  
設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。  
お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「設置説明書」  
をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、  
損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

## 安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



### 警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」  
内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



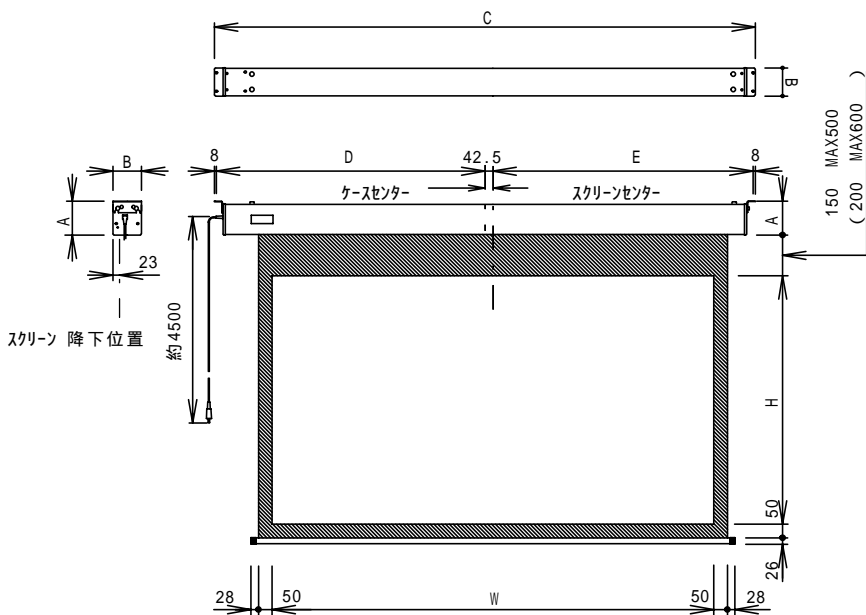
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

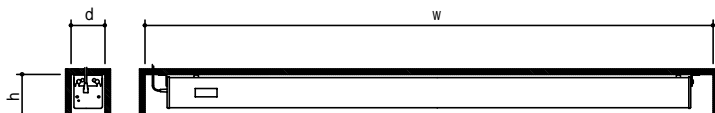
取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

電動巻上型スクリーン（24V制御・低電圧コントロールタイプ）仕様図



スクリーンセンターとケースセンターには42.5mmの、ズレがあります設置には注意してください。  
 ( ) 内はハイビジョンタイプ16:9の寸法です。

天井埋込ボックス参考寸法（内寸法）



付属品

- コントロール用Dサブ9ピンケーブル（1m） × 1個
- リミッター調整用六角レンチ × 1本
- 埋込型昇降スイッチ × 1個
- 取り付け用ビスセット × 一式
- 取り扱い説明書 × 一冊

スクリーン規格一覧

NTSCタイプ4:3

(260G・190PROG・260AG・ホワイトマットアドバンス・グレイマットアドバンス)

参考寸法  
御客様にて  
御用意下さい。

型番			スクリーンサイズ (W) × (H)	ケース外寸 (A) × (B) × (C)			取付穴芯 (D) (E)		重量	モーター定格 AC100V	天井埋込BOX内寸 (h) × (d) × (w)
ビーズ	ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス									
SBEI-RC 80	WAEI-RC 80	MTEI-RC 80AM	1626 × 1219	125 × 105 × 2017	1000.5	958	14.7	80W		150 × 125 × 2100	
SBEI-RC100	WAEI-RC100	MTEI-RC100AM	2032 × 1524	125 × 105 × 2423	1203.5	1161	17.2			150 × 125 × 2500	
SBEI-RC120	WAEI-RC120	MTEI-RC120AM	2400 × 1800	125 × 105 × 2791	1387.5	1345	22.2			150 × 125 × 2870	

ハイビジョンタイプ16:9

(260G・190PROG・160AG・ホワイトマットアドバンス・グレイマットアドバンス)

型番			スクリーンサイズ (W) × (H)	ケース外寸 (A) × (B) × (C)			取付穴芯 (D) (E)		重量	モーター定格 AC100V	天井埋込BOX内寸 (h) × (d) × (w)
ビーズ	ホワイトマット アドバンス	グレイマット アドバンス									
SBEI-RC 80HD	WAEI-RC 80HD	MTEI-RC 80HDAM	1771 × 996	125 × 105 × 2162	1073	1030.5	14.9	80W		150 × 125 × 2250	
SBEI-RC 90HD	WAEI-RC 90HD	MTEI-RC 90HDAM	1992 × 1121	125 × 105 × 2383	1183.5	1141	16.1			150 × 125 × 2500	
SBEI-RC100HD	WAEI-RC100HD	MTEI-RC100HDAM	2214 × 1245	125 × 105 × 2605	1294.5	1252	17.6			150 × 125 × 2700	
SBEI-RC110HD	WAEI-RC110HD	MTEI-RC110HDAM	2435 × 1370	125 × 105 × 2826	1405	1362.5	19.6			150 × 125 × 2950	
SBEI-RC120HD	WAEI-RC120HD	MTEI-RC120HDAM	2656 × 1494	125 × 105 × 3047	1515.5	1473	21.1			150 × 125 × 3150	

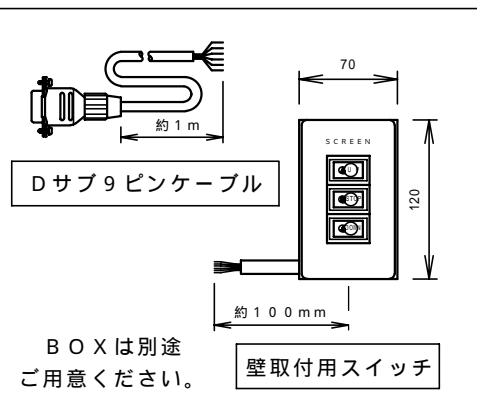
(注) 160AGは、シアターグレイアドバンスの略称表記です。

(注) AMはグレイマットアドバンスの略称表記です。

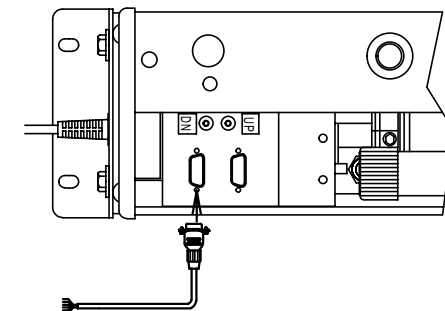
(注) WAは、ホワイトマットアドバンスの略称表記です。

単位 = mm/kg

埋込型昇降スイッチ取付手順



BOXは別途  
ご用意ください。

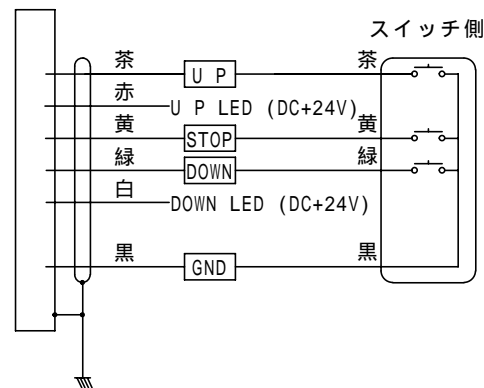


スクリーン本体の左底面部にある、接続端子にDサブ9ピンケーブルのコネクターを接続します。コネクターが抜けないようにネジでしっかり固定してください。

結線

ケーブル側の線のうち赤・白線は使用しません。圧着スリーブ等で絶縁処理をしてください。

コネクター側



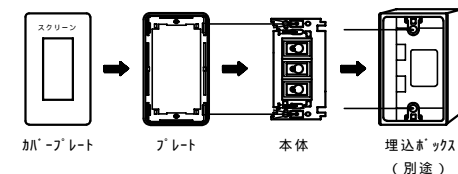
中間ケーブルはご用意ください。  
別途オプションで1.4mケーブルもあります。

警告

シールド線も必ず結線してください。しない場合近接線からノイズをひろい、誤動作を発生させる恐れがあります。

壁面への取付

あらかじめ取付されている壁側の埋込ボックスにスイッチを取付ます。



BOXは別途ご用意ください。

# スクリーン取付方法



## 警告

スクリーンを設置する壁や天井が、石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、少なくとも200Kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。



## 注意

天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ ボードアンカーのみによる施工
- ・ A L Cアンカーによる吊り下げ
- ・ 天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工

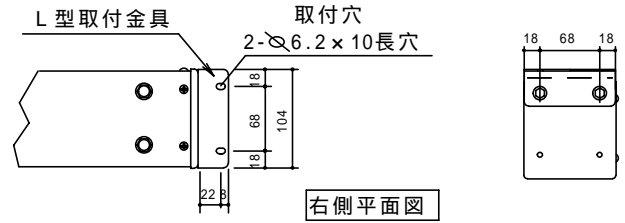
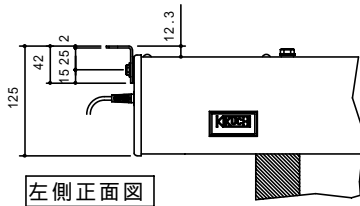
壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

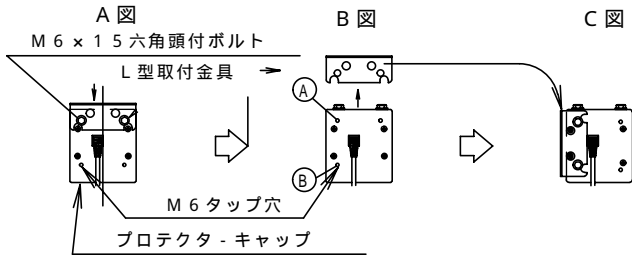
- ・ ボードアンカーのみによる施工
- ・ 下地補強無しでの施工

### L型取付金具寸法図



### L型取付金具 取付向き変更手順

取付手順 出荷時取付金具は、天井取付用になっています。壁に取付する場合は、下図要領に従って金具位置を変更してください。



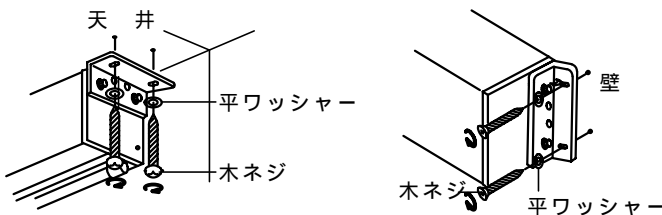
1. ボックスレンチなどでM6 x 1.5ボルトをゆるめてL型取付金具をはずしてください。(B図参照)
2. L型取付金具を90°度回転させ、先にはずしたM6 x 1.5ボルト/平ワッシャーをM6タップ穴の(A)(B)に差し締め込む。(C図参照)

### 合板の天井または壁に設置する場合



#### 注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要です。

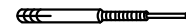


付属品 下記の設置用部品が付属しています。



#### 警告

下記設置部品以外での取付はおやめください。取付等の不備による脱落の恐れがあります。



M6コンクリートアンカー(4本)



木ネジ(4本)



平ワッシャー(4個)



M6六角ボルト(4本)



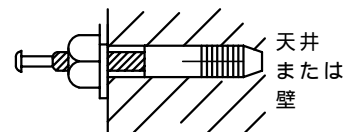
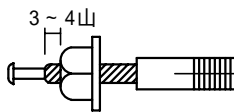
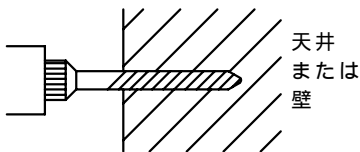
M6ナット(4個)



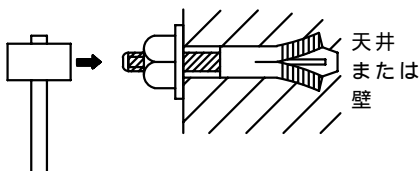
六角レンチ(1本)

### コンクリートの天井または壁に設置する場合

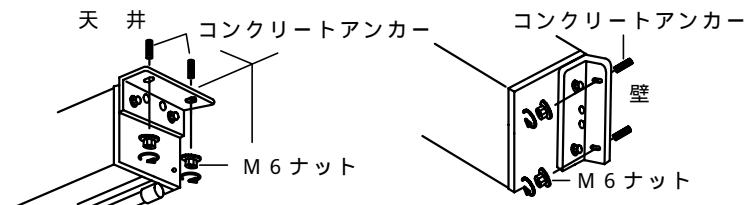
1. 壁または天井に径6.4mmのドリルで深さ55~60mmの穴をあけます。
2. コンクリートアンカーのネジ部にM6ナットをつけます。この時、ネジ山が3~4山(3~4mm)M6ナットの頭から出る様になります。
3. コンクリートアンカーを穴に差し込みます。



4. ピンの頭がネジ部分にあたるまで、ピンを打ち込みます。打ち終わったらM6ナットを取りはずします。



5. スクリーンの取付金具の穴を、コンクリートアンカーのネジ部分にはめこみ、M6ナットで締め付けて固定します。



スクリーンは上部黒マスク巾（有効画面上部より金属ケース間）は約150mm（HDは200mm）に設定されていますが、（工場出荷時）、スクリーンケースに内蔵されているリミッターにより御希望の位置に変更する事が出来ます。（最大500mmまで。HDは600mm）

**スクリーンを下げたい場合** （下図参照）

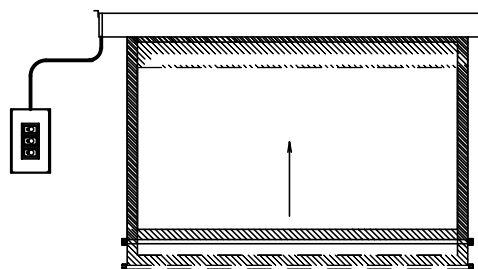
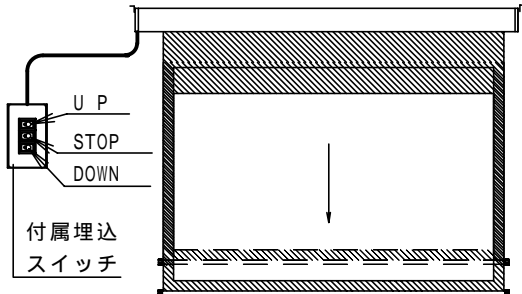
1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. 調整ボリュームNO.1を反時計廻り（+表示側）へ付属の付属六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。（ボリュームを一回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。）
4. 御希望の位置になるまで続けてください。

**スクリーン位置を上げたい場合** （下図参照）

1. 調整ボリュームNO.1を時計廻り（無表示側）に2～3回、回します。（一回転で約25mm上がります。）
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30～40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. 調整ボリュームNO.1を、反時計廻り（+表示側）に回すと、一回転でスクリーンは約25mmピッチで下がります。
5. 御希望の位置になるまで続けてください。

**スクリーンが下がり過ぎた場合**

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



調整ボリュームNO.2はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

2分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが動きモーターは停止します。暫く放置すると（15～20分）、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。（故障ではありません。）

コントロールユニット内にタイマーが設置してあります。これはリミッタースイッチが故障した場合に電源を一定間（約40秒）OFFにする安全機構です。従ってスイッチをUP又はDOWNに入れてから約40秒で電源がOFFになりますので、その間に調整が終了しない場合はスイッチを再度入れなおしてください。タイマーが切れた後調整ボリュームNO.1を回しても何ら反応しません。

**左底面部（下から見た図）**

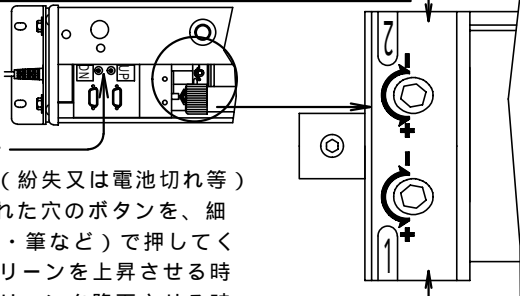
調整ボリュームNO.2（上限専用）

通常の設定時は特に調整はしないでください。

下部パイプがケースに食い込んでしまいます。

工場出荷時に調整済みですのでこのボリュームには触らないで下さい。

調整ボリューム表示	
反時計廻り + 表示側	
時計廻り 無表示側	



**マニュアルスイッチ**

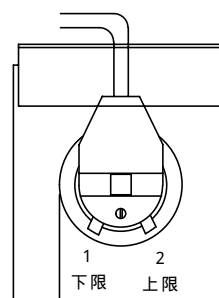
リモコンが使えない時（紛失又は電池切れ等）「UP」・「DN」と書かれた穴のボタンを、細い棒（ようじ・ペン先・筆など）で押してください。

UP：スクリーンを上昇させる時

DN：スクリーンを降下させる時

調整ボリュームNO.1（下限専用）

**左側面部**



← スクリーン面

← 下部パイプ

